

豊岡盆地でのコウノトリのハードリリースの実施及び養父市、朝来市の放鳥拠点でのソフトリリースの着手に伴う個体移動をしました。

「コウノトリ野生復帰ランドデザイン」（平成23年8月策定）に短期目標として掲げた「豊岡盆地個体群の維持」及び「豊岡盆地個体群から但馬地域個体群への拡大」の取り組みを行いました。
 ◆豊岡市出石町袴狭地区：平成24年9月27日（木）1羽（オス J411）をハードリリース
 ◆養父市八鹿町伊佐拠点：平成24年10月19日（金）Lペア（オス J066、メス J054）を移動
 ◆朝来市山東町三保拠点：平成24年10月19日（金）Wペア（オス J305、メス J273）を移動

コウノトリと共生する地域づくりフォーラムを開催しました。

平成24年10月19日（金）・20日（土）、ふるさとひょうご記念貨幣（地方自治法施行60周年記念貨幣）がコウノトリを題材として平成25年1月頃に発行されることを記念して、朝来市山東町にあるさんとう緑風ホールに於いて、コウノトリの野生復帰や人と自然が共生する地域づくりへの理解を深めるためのフォーラムを開催しました。パネルディスカッションもあり、充実した内容の集いになりました。



平成24年度 特別公開を行いました。

平成24年10月20日（土）・21日（日）の2日間にわたり、普段非公開としている「コウノトリ野生化ゾーン」を特別に公開し、飼育の状況や馴化訓練中のコウノトリの様子をみていただきました。色々なコウノトリの餌生物等を描いたコウノトリ郷公園特製缶バッジがもらえるスタンプラリーやガイドウォークの実施、また今年は初めてコウノトリの紙芝居も上演し、大勢の来園者で賑わいました。



コウノトリをハバロフスク地方へ寄贈しました。

兵庫県は、ハバロフスク地方の協力により増殖に成功した兵庫県のコウノトリ4羽（2つがい）を寄贈することを「兵庫県・ハバロフスク地方友好提携40周年記念共同声明」（平成21年9月18日）で発表しました。

このたび、その共同声明を実現させるため、ロシア連邦政府ハバロフスク地方政府及び文化庁・環境省・経済産業省等の国内関係機関と協議・調整を行い、国内外関係機関の許可が得られたことから、4羽（2つがい）をハバロフスク地方へ寄贈し、10月31日（水）に譲受式典が行われました。

◆寄贈場所：プリアムールスキー動物園



コウノトリの個体数 (H24.10.31 現在)

1 飼育コウノトリの個体数

区 分	オス	メス	計
県立コウノトリの郷公園	25	33	58
附属飼育施設コウノトリ保護増殖センター	18	14	32
養父市八鹿町伊佐地区放鳥拠点	1	1	2
朝来市山東町三保地区放鳥拠点	1	1	2
計	45	49	94

2 野外にいるコウノトリの個体数

区 分	オス	メス	不明	計
放鳥コウノトリ	8	10		18
野外繁殖により増えたコウノトリ	13	26	4	43
野生個体		1		1
計	21	37	4	62

コウノトリ通信に関するご質問・ご意見等がありましたら下記までEメール又は電話等でご連絡ください。

問い合わせ先
 兵庫県立コウノトリの郷公園
 〒668-0814 豊岡市祥雲寺字ツケ谷128番地
 TEL: 0796-23-5666
 FAX: 0796-23-6538

E-mail : kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp
 ホームページ : http://www.stork.u-hyogo.ac.jp
 開園時間 : 9:00~17:00
 休園日 : 毎週月曜日(休日に当たるときはその翌日)・12月28日~1月4日

コウノトリ通信

(題字：山岸哲園長)



兵庫県立コウノトリの郷公園

平成24(2012)年11月1日発行

No.4

大地と生き物、人々の暮らしのかかわり

～山陰海岸ジオパークとコウノトリ～

兵庫県立コウノトリの郷公園 ジオ環境研究部 研究員 松原典孝

右の写真、皆さんは何に見えますか(写真1)? 黒っぽい岩に縦と横の割れ目模様が入っています。縦の割れ目は「柱状節理(ちゅうじょうせつり)」と言い、溶岩が冷えて固まるとき、溶岩の体積が小さくなることでできる割れ目模様です(図1)。この割れ目模様を上から見ると、(写真2)のような六角形角形をしています。江戸時代ここに訪れた儒学者柴野栗山はこのような割れ目模様を見て、縦に横の割れ目模様は蛇の腹、六角形の割れ目模様は亀の甲羅のように見るとし、中国の北の守り神「玄武」にちなんでここを玄武洞と名付けました(図2)。この玄武洞は玄武岩という岩石の名前の由来にもなっています。意外に知られていないのですが、

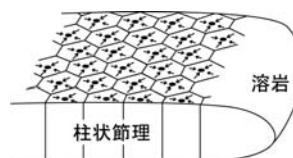


図1 柱状節理のでき方



図2 玄武の絵 (兵庫県立人と自然の博物館先山徹氏原図)

六角形から来ている玄武岩の玄武さんの顔の形は



写真1 玄武洞



写真2 玄武洞の柱状節理



写真3 玄武岩の玄武さん

六角形から来ている玄武岩の玄武さんの顔の形はこの六角形から来ています(写真3)。

皆さんは「ジオパーク」というものを知っていますか? ジオパークは「ジオ(Geo): 大地、地球」の「パーク(Park): 公園」で、地球の活動の中で生まれた地域特有の地層や岩石、地形とそこに成り立つ生き物、文化、人々の暮らしを学び、守りながら、観光やビジネスなどに活用することで、地域の活性化を図ることを目的としています。ジオパークのうち、地域資源(見どころや特産品など)とそれを保全しながら活用する活動が世界的に見て特に優れていると認められた地域が世界ジオパー

クネットワークに加盟認定されます。京都府京丹後市、兵庫豊岡市・香美町・新温泉町、鳥取県鳥取市・岩美町からなる山陰海岸ジオパークは、2010年に世界ジオパークになりました(図3)。それぞれのジオパークには大地の成り立ちに応じたテーマがそれぞれあります。山陰海岸ジオパークのテーマは「日本海形成に伴う多様な地形・地質・風土と人々の暮らし」です。



図3 山陰海岸ジオパークの範囲とテーマ

図4は山陰海岸ジオパークの主な見どころを絵にしたものです。日本海の形成から今日にいたる大地の活

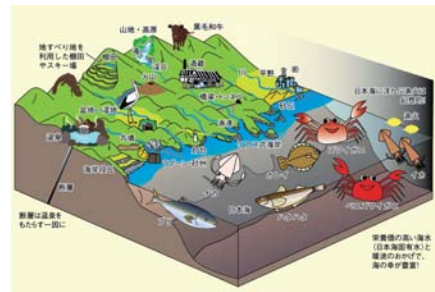


図4 山陰海岸ジオパーク概念図

動の中で、日本海が生まれ、山や渓谷ができ、美しい海岸ができました。そこには火山や平野、盆地、砂丘、リアス海岸、砂浜、ラグーンなど様々な地形・地質があります。これらの多様な大地の上に、様々な生き物が暮らし、これらすべての地域資源を利用して私たち人間が暮らしています。このような関係性を学び、楽しみながら、地域資源を保護・保全し、活用することで地域をより良くしようとするのがジ

オパークなのです。

さて、最初に紹介した玄武洞の玄武岩ですが、生き物や私たちの暮らしにどう関係しているのでしょうか？

豊岡盆地の地下には厚さ30~50m前後の厚い土砂がたまっています(図5)。

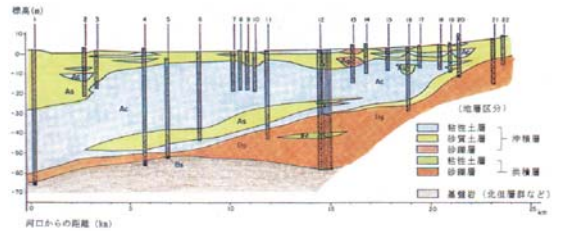


図5 豊岡盆地の地下構造

この土砂はたくさんの海の貝化石を含むことから、かつて豊岡盆地が海だったことがわかります。しかし、この海は、あっという間に土砂で埋まり、現在の盆地になりました。急速に海が土砂で埋められた原因に、円山川下流域の地形が関係していると考えられます。図6は豊岡盆地周辺の地質図(どこにどのような岩石や地層が分布しているかを示す図)です。この図のうち、円山川沿いに広がる白い部分が新しい土砂がたまり比較的平らになっている場所です。この白いところを見ると、玄武洞付近で急に狭くなり、日本海まで狭い谷が続いていることがわかります。このような地形であるために、かつての湾に流れ込んだ土砂が海に排出されず、あっという間に海を埋めてしまったのです。



図6 豊岡盆地周辺の地質分布

このようなボトルネック状の地形を作った原因の一つが、周辺の岩石の性質です。玄武洞~円山川の河口付近までは、玄武洞の玄武岩をはじめとして火山岩(火

山活動で噴出した溶岩など)が分布しています。一方、玄武洞より上流側のコウノトリの郷公園周辺では、比較的崩れやすい砂や泥が固まってきた砂岩や泥岩、風化するとろくなりやすい花崗岩が分布しています。この岩石の硬さの違いにより、上流側ほど広く削られて開けた地形になり、下流側ほど削られにくく急峻な地形になったものと思われます。

こうしてできた豊岡盆地は、その地形もあって湿地が広がるようになり、そこを利用して水田が作られました。湿地や水田はコウノトリの餌場になり、コウノトリと人が共生する街ができました。コウノトリを守る取り組みはコウノトリ育む農法を生み、安心ブランドとして全国に知られるようになりました。湿地に生えるコリヤナギを利用して始まった柳行李づくりは、現在の靴産業につながっています。このように、大地の性質は現在の人々の暮らしに密接に関連しています。山陰海岸ジオパークにはこのような見どころがたくさんあります。これはまた次の機会に紹介しましょう。

郷公園で確認したいきもの (9月1日~10月31日)

<p>【貝類】 カワナ マンジミ マルタニシ</p> <p>【クモ類】 イエオニグモ オナクグモ ギンメッキゴシグモ コガネグモ ゴシグモ ジョロウグモ スグロオニグモ</p> <p>【甲殻類】 アメリカザリガニ スズエビ ミナミヌエビ</p> <p>【魚類】 オイカワ カマツカ カワムツ カワヨシノボリ タモロコ ドジョウ トンコ ムギツク</p> <p>【両生類】</p>	<p>メダカ モツゴ</p> <p>【昆虫類】 アオハダトンボ(オス) アキアカネ オオイトトンボ オオカマキリ オニヤンマ キアシナガバチ キイトンボ クルマバツタ クルマバツタモドキ コハネイナゴ シオカトンボ シオヤトンボ ショウジョウトンボ ショウリヨウバツタ ツマグロイナゴ トノサマバツタ ナツアカネ ノシメトンボ ハグロトンボ ハラビロカマキリ ハンミョウ リンゴトクガ(幼虫)</p> <p>【両生類】</p>	<p>トノサマガエル ニホンアカガエル ニホンアマガエル</p> <p>【鳥類】 アオサキ イカル イビトドリ エナガ クサンキ コウトリ(野生) コガモ コゲラ シジュウカラ スズメ セグロセキレイ ダイサギ チュウサキ トビ ハシボソガラス ヒヨドリ ホオジロ モズ ヤマガラス</p> <p>【哺乳類】 キツネノマコ ツキノアキハミ ツキノアキハミ</p>	<p>ニホンイナゴ(糞) ニホンイナゴ(土耕跡) ニホンジカ</p> <p>【爬虫類】 アオダイショウ シマヘビ ニホンイシガメ ニホンカナヘビ ニホンカゲ ヤマカガシ</p> <p>【菌類】 アカハツ チチアワケ ヌメリイグチ</p> <p>【植物 / 主に開花中のもの】 《草本》 アレチヌスビトハギ イソクジュ イヌタバ イブキジャコウソウ イボクサ ウリクサ オウツチカタハミ カタハミ</p>	<p>キモ キツネノマコ キンミスヒキ ゲンバショウコ コナキ コマツナギ サケハヒヨドリ シロツメグサ ススキ ダントホロキク チカラシバ ツクサ ハツカ ヒメジソ ヒメジソオン フジバカマ ブタクサ ベニバナホロキク ミスオオハコ ミスヒキ ミゾカクシ ミゾソバ ヤノネグサ ヤハズソウ ヤマハッカ</p> <p>《木本》 タラシ</p>
---	---	---	---	---



イブキジャコウソウ



ノシメトンボ(市民提供)



ショウリヨウバツタ



ハンミョウ(市民提供)